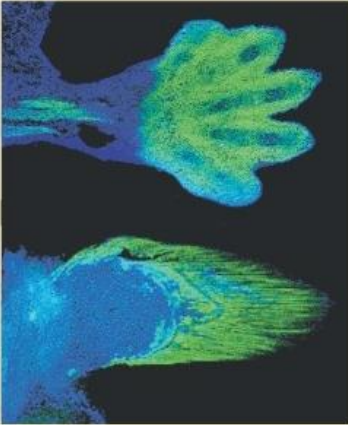


科学

魚のひれが、人の手の骨に進化？

人の手やマウスの前足は、魚の胸びれにあるやわらかい骨から進化した可能性が高いことを、シカゴ大学（アメリカ）のチームが実験で確かめました。

同じ遺伝子の働きによって光ったマウスの手（上側）と熱帯魚のひれ（シカゴ大提供）



背骨を持った陸の生き物は、長い時間をかけて魚から進化したと考えられています。研究チームの中村哲也先生は「進化の仕組みの解明に向けた大きな一歩」と話します。

魚のひれは、全体に広がるやわらかい骨と根元のかたい骨があります。研究チームは、マウスの前足をつくる遺伝子に注目。同じ遺伝子が働いていると、その部分が光る小型熱帯魚を人工的につくり、魚ではどの部分をつくるのかを調べました。

この熱帯魚を育てると、胸びれのやわらかい骨が光ったそうで、この遺伝子が働かないようにすると、胸びれのやわらかい骨は小さくなりました。

① この記事の見出しを書きましょう。

[]

② 人の手やマウスの前足は、魚のどこの骨から進化した可能性が高いのですか？

[]

③ 背骨を持った陸の生き物は、長い時間をかけて何から進化したと考えられていますか？

[]

④ 記事を読んでどう思いましたか、感想を書きましょう。

ニュースアラカルト

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

[]